

韓国慶山市を訪ねて

キョンサン

- 2005年度（平成17年度）中学生韓国派遣記念文集 -



경산

GYEONGSAN



조요

JOYO



JIEA
城陽市国際交流協会

日本國 城陽市 中學生 訪問團

2006. 3. 28 慶 山 市



この文集は城陽市国際交流協会が主催した、2006年3月28日から31日までの三泊四日の中学生韓国派遣団に参加した市内中学生10人の感想文です。

姉妹都市である大韓民国慶山市への訪問・交流を通して青少年に国際理解を高めてもらおうと当協会が1993年度から実施している事業です。すでに百人の中学生がこの事業を通して慶山市を訪問しました。

今年は一泊二日姉妹都市盟約提携15周年にあたり、14〜15歳の青少年が訪問団に参加しました。大韓民国で文化や習慣に触れ、また慶山市の中学生と交流を通して得た感想が、隣国のパートナーと共に歩む未来への第一歩となることを希望いたします。

目次

派遣団の主な日程	城陽中学校3年	青木 友季	2
「初海外!! 韓国の旅」	城陽中学校2年	石塚 準也	3
「韓国派遣団で学んだこと」	西城陽中学校2年	大谷 啓太	5
「韓国」	帝塚山学園中学校3年	大本 千滉	8
「韓国へ訪問して」	南城陽中学校3年	可畑 侑香	10
「充実した4日間」	大谷中学校2年	辻 桃子	12
「韓国に行ってみて」	南城陽中学校3年	永井 結子	14
「韓国に行ってみて」	西城陽中学校2年	長田 伊久美	16
「韓国派遣団に参加して」	西城陽中学校2年	中辻 正雄	19
「韓国を訪れて」	南城陽中学校3年	平松 稚理	21
あとがき	城陽市国際交流協会会長	工藤 香代子	23

2005年度派遣団の主な日程

3月28日

城陽市役所を7時30分に出発
 関西国際空港から空路釜山金海空港へ
 バスで慶山市へ移動
 慶山市表敬訪問
 慶山市場見学
 慶山上大温泉ホテル泊

3月29日

巳洞中学校にて学校見学・交流会・給食体験
 嶺南大学博物館見学、カッパウィ登山
 慶山上大温泉ホテル泊

3月30日

慶州にて天馬塚、仏国寺見学
 (共に世界文化遺産)
 東大邱駅よりKTXでソウルへ移動
 ソウル・タワー見学
 ソウル・レックス泊

3月31日

昌徳宮(世界文化遺産)見学
 南大門市場見学
 東大門市場見学
 ソウル仁川国際空港から
 空路関西国際空港へ
 城陽市役所に22時30分帰着



「初海外!! 韓国の旅」



城陽中学校3年

青木 友季

私が韓国に行こうと思ったのは、観光はもちろんですが、難しいはなしですが、韓国の中学生は日韓のモンダイとかどういうふうに考えているのかなあって聞きたいなと思ったからです。私は日本人の知識が低いと思うんです。知っている人もいますが大半はあまり知らないと思うんです。もちろん私も、もっと勉強しなきゃいけないし。この事言ったらどう返してくれるのか不安でしたが、期待もしました。そして、韓国の旅が始まったんです。

出発の前日とても興奮して寝れないんじゃないかなあと思いました。朝、早くとてもねむかったです。そして、みんな集合してバスに乗り込んで、出発進行!! 私は外に手をふりながら、これからどんな事を知って、感じられるのかを考えるワクワクしてしまいました。そして関空に着いて、「スゲー」って思っていました。前、関空来たときとってものしく

て、たのしみにしてたんです。いろんな物たくさんあるし。乗らない飛行機まで撮っていました。そして、飛行機に乗り込んで飛び立ちました。ジェットコースターみたいでこわいような、そんな感じでプサン空港に着いて、慶山に向かいました。そしてその途中休けいたサーブエリアにファミリーマートがあつて「あつ、ファミマや」と思って写真とつて、ファンタとハイチュウみたいなお菓子を買いました。ファンタのペットボトルの形が違つておもしろかったです。今、発売された形に似ていました。

そして慶山の市長さんの所へ向かいました。会う時とても緊張したけど、とても気さくな方でした。そして市場を見に行きました。そこには私の好きなトゥック（韓国のおもち?）みたいなのを食べました。本場のトゥックは少し塩が入っていました。とてもおいしかったです。日本で食べたのとは違っていました。そして、少し市場を見学して晩御飯を食べに行きました。プルコギでした。日本でいうすき焼きと似たところでしょうか。おいしかったです。青とうがらしをみそにつけて食べました。からさがたまらなくおいしかったです。もちろんキムチも食べました。本場のキムチはおいしいです。そしてホテルに帰ってお風呂に入って、友達としゃべって寝ました。

そして、いよいよ待ちに待った中学生との対面です。私た

ちは巳洞中学校に行きました。バスから降りてみると目の前は私立のようなとてもキレイ☆☆で新しい学校がありました。めっちゃ、ビックリしました。そして、施設を見学してよいよ対面です。私のペアやった人は**金슬기**(キムスルギ)さんでした。とても優しい人でした。韓国語はあんまりしゃべれないのでもっと勉強しておけばよかったと思いました。ほとんど英語でしゃべりました。むこうの中学生はともうまかったです。私もがんばらなきゃと思いました。いろいろしゃべっている人の名前を言うと「知ってる、私も好き」って言うてくれて、もりあがりました。とてもたのしかったです。けど、みんながしゃべってる所に口をはさんだのはごめんなさい!! っであとになって思いました。ホントごめんなさい。そして、いっしょに給食を食べました。びっくりしたのは、むこうの中学生がキムチが嫌いって言うてたことです。「ええ!!」韓国なのに・・・。給食には私の大好きなキムチのこのごはんみたいなんとスープとごはんサラダとかが出ました。おいしかったです。そして、大学の博物館によって、いっしょにカップウェイに登りに行きました。山のぼりけいしやがキツかったけど、私的にはそんないうほどじゃなかったんですけど、韓国の中学生の人に「Slow, Please」って言われてゆっくり登りました。だってみんな細いんだもん。私は「You, strong」って言われて笑ってた。そして登り終えてカップウ

イの仏様に祈っておりました。山の上には大きな岩が仏像にほられてる岩と祈っている人がたくさんいました。ここからの景色がともきれいでした。「Beautiful view」って言いながらみんなで写真とりました。

そして、山からおりて、帰りのバスの中で一番聞いてみたい事をききました。むこうの中学生にきいてみました。「日本はやったことにたいしての認識が低いと思うんですが、朝鮮戦争も日本の植民地から開放されたと思ったら次は国が分かれ、アメリカとソ連の代理戦争になってしまったし。」って言ったたら、先生が「今の子どもあまり知らない」と言うておられました。たぶん歴史上では習うけど、そういう実



巳洞中学校での交流会

話とかはあまり知らないと言ってはりました。そこで私が「正直なはなし、たしかに、私たち日本がした事は許されないことだと思えますけれども、それで韓国の方にペコペコするのもどうかと思うし、とても複雑です。」と言ったら、その先生が「確かにあやまる事は必

要かもしれないですが、これから未来を考えていく事の方が「必要だ」と言ってくださりました。その言葉を聞いたときとてもうれしく、良かったと思いました。何かいわれないだろうかと思っていました。その言葉で確信できました。やっぱりそういう考えの人もいるんだと。その考えと違う考えの人もいます。そういう考えの人が一人でもいたということがとてもうれしかったです。韓国でかわいいおみやげが買えるより、私の好きなKOREANシンガーのCDが買える事より何倍も何倍もうれしかったです。その時あらためて、この旅に参加してよかったと思えました。それから、いろんな所に行ったけど、やっぱり心に残っているのは韓国の先生の言葉です。

話はぜんぜん違うんですが、最後の夜は羽をのびすぎました。スイマセンでした。そんなこんなで、あつというまに、4日は終わりました。この旅が私の+プラスになったことはまちがいないし、プラスにします。いい経験をさせていただきました。ありがとうございました。

END



「韓国派遣団で学んだこと」



城陽中学校2年

石塚 隼也

今回この派遣団で韓国に行った理由は、親に誘われたからだった。城中生は3年の青木さんだけしかいなく、心細かった。初めのパーキングエリアまでは、誰とも喋られなかった。けどパーキングエリアで、中辻君と大谷君と仲良くなった。後で辻さんと大本さんとも仲良くなった。ほとんどがこの5人で行動をしていた。バスでの時間が長く、しんどかった。けど毎回ランプの大富豪などやっていた。関空は、何回も行ったことがあるけど、やっぱり楽しかった。飛行機は酔って大変だった。

韓国につくとあんまり日本と変わらないなあーと思った。外は寒く僕らはふるえていた。

プサンの空港の外に出ると、ハングルばかりだった。いくら頭をひねっても判らなかつた。人口も多かった。そのときからテンションが上がってきた。慶山上大温泉ホテルに28日と29日に泊まった。ビミョーな部屋だったけど、楽しかつ

巴洞中学校での交流会



たので良かった。市場に行つてこのあたりが一番美味しいと言われているおもち屋に行った。韓国の人はハサミ使いが上手だと判つた。色とりどりや味も違つて楽しめた。ホテルの温泉は大きくてびっくりした。温泉の中でおそらく韓国語で「どこから来たん？」と言われたと思う。質問した人すべてに「ジャパン！」と言つていた。夜は・・・まあ楽しかった。

2日目は、ついに同級生との交流会だった。サドン中学に行くつと、僕たちを待つてたかのように人が沢山来た。大谷君が、女子にとても人氣があり、大谷君が女子の前を通るとキヤーカーさわぐし、カメラやケイタイで写真をとつたりして大変そうだった。校舎の中は高校か大学レベルの大きさときれいさだった。まだ3年しか開校して月日がたつていないので新しかった。

交流会では、メガネをかけてる背の高い男子が僕のパートナーだった。言葉も国も違うので何を話したらいいか判らなかつた。向こうも同じ気持ちだったのかひとこともしゃべらなかつた。唯一、話した？ことは「おかしどうですか？」のジェスチャーだけだった。けど、通訳してくれた先生がおもしろい女の人で、僕らを盛り上げてくれた。プレゼントのCDをあげるととても喜んでくれたけど、先生の方がCDをほしうだった。僕はおきものとキーホルダーをもらった。男の子は、足が遅かつたらしく、僕に走り方を教えてほしかつたらしいので、教えたりした。男の子は頭が良く学年の一、二位を争う頭の良らしい。それで先生が「あなたとこの男の子を合わせると、すごい人間になるね」と言つて笑わしてくれた。次に博物館に行った。すごく広くて日本にもあるものもあった。韓国の男の子3人と、とっても仲良くなつた。トイレの名前（ファージャンシー）を僕らは連呼していた。

次に登山をした。名前はカップパイという名で、初めに走つていったけど、坂がキツくてすぐダウンした。みんなそうだった。けど韓国の人とおいかけっこをしたりと、とっても楽しんで頂上まで行った。大きい石の大仏がいて、バックでお経が流れていた。

そして、学校について韓国の男子3人、女子7人と別れた。ちよつとさびしかつた。その日は、すぐに寝てしまった。

3日目は寺や古墳を見た。そして、ソウルに電車で行った。日本の新幹線らしい。騒音がなく乗っている人みんな静だった。

ソウルは日本の大阪くらいの人口の多さでびっくりするくらいの人があった。ソウルタワーは高く、いいながめだった。上から見ると車や建物の光がきれいにひかっていた。ホテルは前よりきれいだったけど、温泉がなくて、自分らの部屋のナカのふろに入った。辻さんが熱が出て、テンションが低くてかわいそうだった。

そして最後の日かぁーと思いながら寝た。最後の日は市場に行った。ブランドの小物入れが3000ウォン(300円)だった。安っ！と思っただけど、偽物だった。けど、キーホルダーが1000ウォンやのりが6000ウォンなど、すごく安かった。ここではあまり買わなかったけど、後になって後悔することになった。最後の買い物する所は何でも高かった。キーホルダー5コセットで15000ウォンとか、とうがらしチョコが24コ入り15000ウォンなど日本と同じくらいの値段だった。そこでしかもう買えなくて悔しい思いをした。そして、ソウルの空港で関空まで行った。日本がみんななつかしく、さっそくケイタイをいじっている人ばかりだった。みんななくたかった。そして市役所に着いた。仲良くなったみんなと別れるのは残念で悲しかった。けど、ま

た会えると信じて、別れた。

この4日間仲良く接してくれた大谷君、中辻君、辻さん、大本さん、あと青木さん、可畑さん、永井さん、長田さん、平松さん、それに新井団長、大久保さん、藤本さん、ハンさんいろいろな人にいろいろな迷惑をかけたり、さわがしくしすぎたときもあったけど、この4日間本当にたのしかったです。また僕に会ったら声をかけて下さい。この4日間違う国の人とのコミュニケーションや物事の伝え方や色々なことを学びました。韓国に行ってきただけで終わらないように、自分自身を変えられる第一歩としたいと思います。人にたよらず、自分達で考え、行動できたいと思います。

この4日間本当にありがとうございました。



「韓国」



西城陽中学校2年

大谷 啓太

チョウムペッケスムニダ、西城陽チユンハッキョサマンニ
ヨン大谷啓太ラゴハムニダ。

僕は、中学生韓国派遣団に参加した。参加した理由は、今「韓流ブーム」でよくテレビなどで韓国の事が放送されている……。それを見て僕は韓国という国に興味を持ったからだ。

そして、3月28日、日本を出発しました。

次の日の午前十時に巳洞^{サドン}中学校に着いた。その巳洞中学校についてそうそう僕は韓国の中学生男女達に目をつけられた。この中学校は校則が厳しいから、僕みたいな髪の色をしている人が羨ましいからだそうです。しかも、今の韓国では僕みたいなカッコした人がカッコイイと思われるからだそうです。そして、廊下を歩いていると、たくさんの中学生が後を追いかけて来た……。その人達をなんとかまいて館内にある体育館についた。そこで、授業見学をした。その帰りぎわ

に、案内人の話を聞くために、座っていると、横に女の子が座ってきた。僕は何がおこったのかよくわからなかったケド、周りを見るとめっちゃめっちゃ集まっていた。だから、ピースをした……。そしたら、日本語で

「かわいい〜」

と聞こえてきた。恥ずかしくてたまらなかった。そして、別の部屋に行つて、同じ年の中学生たちとプレゼント交換をしたり、しゃべったりしてとても面白かったです。僕は、京都の観光名所の絵ハガキをプレゼントした。何分かって食堂に移動した。皆で仲よくごはんを食べた。11時半くらいに、食堂を後にした。

着替えるためにバスへむかう途中で、写真などをいっぱいとられた。バスにつくと着替えて、出発するのを、今か、今かと待っていた。バスの外がこわくて、でれなかった。トイレに行きたくなつたケド、自分1人だけガマンした。他の男友達



巳洞中学校にて

が、トイレから帰ってくると、

「お前がいいひんかったし、楽に行けたわあ、やっぱお前がねらわれてるんやなっ!!」

って言われた。そして、やっとバスが出発する時間がやってきた。次は嶺南博物館に来た。そこにあつた巫刀を韓国語でなんて言うの??と、同行している韓国の中学生(男)に聞いたら「ムート」っておしえてくれたし、トイレは?って聞いたら「フアジャンシー」って教えてくれた。けっこう仲よくなれたしよかつたなあと思つた。そして、博物館の前で写真をとつた。

次は、カップウイの登山だった。めっちゃ疲れた・・・登りきる途中で、ちっちゃいお坊さん達がいっぱい、置かれてる所を見た。何十体も、置かれていた。ビックリしたケド、めずらしいので、写真をとつておくことにした。

そして、一番てっぺんに置かれていた、でっかい仏像も写真をとつた。そこのとなりにいろんな人が岩の凹凸部分にお金をはめていた。僕もトライした。なんとか二枚ぐらいのせて帰つて来た。願いがかなうと言われているそうだ。

次の日の夜に、ソウルタワーに行った。そこは、ライトで照らされてむちやくちやきれいだった。ソウルタワーの中から見た夜景はもつときれかった☆☆☆トイレのナカにきれいな洗面台があつて、思わず写メをとつた。

4日目、南大門市場に行った。そこでは、本当にいろんな店がたくさんあつた。そこではなんにも買うもんが無かつた・・・。次は、昼ご飯を食べた。ビビンパだった。今までの食事は、正直言つてあまり口にあわなかつたので、韓国に来てサイコーにうまい食べ物やつた。そして、東大門市場トデムジンジャンに来たケド時間があまりなかつたから、グルグル回つただけだった。町はとても日本に似ていて驚いた。でも、道路がやたら広かつた。

感想

四日間でいろんなハプニングもあつたけど、たくさん韓国の事を学び、韓国の中学生達とも仲よくなつて帰つて来れたことを僕はほこりに思います。そして、仲よくなつた人たちが大人になり、日本との友好関係をもっとふかめてくれたらいいなと思つてます。又韓国に行ける機会があつたら、ぜひ参加させて欲しいです。でも、その時は、日本に帰つて来てからの感想文を書く枚数を少なめにして欲しいです☆☆一緒に行った、皆が僕の事や出会つた人達の事を忘れずに覚えていてくれることを願つてます。韓国メチャメチャ楽しかつたです。ありがとうございます。

カムサハムニダ

「韓国へ訪問して」



帝塚山学園中学校3年

大本 千滉

今回、私は城陽市の中学生代表として韓国を訪問しました。初めて行く韓国で中学生代表として、市長への表敬訪問や中学校訪問できたことは、一生忘れられない思い出になりました。楽しかった4日間を振り返り、感想をまとめてみたいと思います。

初日、関空から飛行機に乗ってまず、日本と韓国の近さに驚きました。顔は似ているのにハングルだらけの空港はとても変な感じがしました。空港に着くとすぐバスに乗って慶山市長に表敬訪問に行きました。

自然がたくさんあり、教育設備などが整っている様子が伝わってくる慶山市の紹介VTRを見て、慶山市は本当にいい街だと思おうと同時に、派遣団として慶山市との交流に來た責任のようなものを感じました。そのあと夜ごはんはんにプルコギを食べた時、生まれて初めて青とうがらしを食べましたが、辛すぎて涙が出てきました。

2日目、^{サド}巳洞中学校を訪問しました。政治上ではいろいろともめていることもあるので今回の交流はだいいじょうぶかなあと不安な気持ちもありましたが、私たちが驚くような歓迎ぶりだったので嬉しかったと同時に文化の違いのようなものを感じびっくりしました。その後、自己紹介を韓国語でして、あとはずっと英語で話をしていました。でも韓国の人たちのほうが私より英語力が優れていたもので、私もこれから英語もしっかり勉強しなければと思いました。巳洞中学校では選択で日本語の授業があるらしく、日本語がペラペラな子もいて、その語学力にはとても驚きました。日本語で話しかけてきてくれたときはとても嬉しかったです。日本のアイドルの名前なども数多く知っていたのにはびっくりしました。

お昼ご飯は巳洞中学校の食堂で食べましたが、辛いものばかりでほとんど食べることができませんでした。そして、昼食後はみんなでカツパウイ山に登りました。石の階段ばかりで足がつりそうにもなりましたが、みんな最後まで登りきれたととても達成感がありました。夜ごはんはんにカルビを食べました。韓国流の食べ方にとってもハマりました。しかし他のものは、やはり辛いものばかりでした。

3日目、古墳などを見に行きました。日本と近い国だけあってそこに展示されていたものなどが日本のものと似ている感じがしました。お昼に食べた冷麺は想像していたものと全

く違い、あまり私の口にあいませんでした。電車に乗ってソウルに入ると、東京のようにとてもにぎやかで、ハンダルの看板がたくさんある中、日本語の看板も案外あったので驚きました。それから韓定食を食べに行き、民族舞踊などを見ました。チマ・チョゴリはとてもきれいでした。

夜、ソウルタワーに行きました。すごくきれいな場所で、夜景も本当にきれいでした。一生忘れない夜景が見れたと思います。昼間だとなりの国の北朝鮮も見えるということなので、今度はぜひ昼間にソウルタワーに来て北朝鮮も見てみたいと思いました。

4日目は昌徳宮チャンドククンの見学に行きました。すごく立派な建物と庭園ナムデムシンジャンでした。南大門市場や東大門市場にも行きましたが、お店の人はほとんど日本語が話せる人ばかりで感心しました。東大門市場では、ほとんど時間がなかったのもうちよつとゆつくりしたかったと思います。仁川空港インチョンに着いて、マクドナルドのプルコギバーガーを食べました。メニューが韓国語と英語と日本語で書いてあったのはびっくりしました。韓国のマクドナルドもおもしろかったです。そして無事日本に帰国することができました。

今回、母の「行きたい？」の一言が参加するきっかけになり、楽しくて充実した4日間を過ごすことができました。また今回韓国へ行ったことにより、違う視点から日本や城陽市

を見つめなおすきっかけにもなったと思います。

韓国語は日本語に似ていて学びやすいということなので、韓国へ行ったこの機会にこれから韓国語も勉強しようかなあと思いはじめました。交流で知り合った友達が日本語でメールを送ってきてくれたことに驚き、私もいつか韓国語でメールが送れたらいいなあと思いました。

この旅行で生活習慣の違いはもちろん、国に対する気持ちの違いや食事文化の違いなどたくさんのことを学びました。そのことを多くの人に伝え、そして自分の生活にも活かしていきたいと思います。また、韓国で出逢った人を大切にしてこれからも交流を続けていきたいと思っています。

ソウルのノルブチブにて



最後にお世

話になった城陽市国際交流協会や城陽市の役員・職員の方々、私たちの貴重な旅行を支えていただき、ありがとうございました。

「充実した4日間」



南城陽中学校3年

可畑 侑香

私は、この韓国派遣団研修旅行に参加することができて、本当に良かったと思っています。

始めに応募すると決めた時、「もし本当に派遣団の一員に選ばれたとしたら、城陽市内の中学生の代表として、しっかりと韓国の中学生と交流したり、文化や韓国の事を学んで帰ってこられるかなあ。」「ほかの行く人に迷惑をかけたくないな。」など不安がたくさんありました。でも、実際に韓国派遣団研修旅行に参加することが決まった時、城陽市の中学生の代表として行くという不安が責任として決心に変わりました。

第一日目の慶山市長表敬訪問の時に、私は市長さんにあいさつの言葉を言いました。言葉は全て韓国語で言ったのですが、とても難しかったです。その苦労した分も含めて市長さんや市役所の人たちに、私たちの交流を深めようとしている意志は伝わったと思います。意志が伝わったと感じた理由は、

私たちがあいさつの言葉を言っている時に、聞いてくれる人たちがうなずいてくれていたからです。市役所で温かく歓迎してもらえて良かったです。

市役所へ行ったあと、慶山市場へ行きました。そこでは、

魚や野菜、果物、食べ物のほかにも洋服やくつなど、さまざまな物が売られていました。慶山市場の物はどれも規模が大きく、値段は安く売られていました。

第二日目、私たちはこの日のほとんどを巴洞^{サドン}中学校の人たちと過ごしました。最初に私たちがバスから降りた時、すごい叫び声が聞こえてびっくりしました。まるでスターに対するような歓迎を受けるとは思ってもみなかったのだからとまどいましたが、中学生たちが笑顔で迎えてくれたので、うれしかったです。中学生は設備が整っていて、日本でいうと私立みたいな感じでした。給食は少し辛いなあと思いました。食べやすくおいしかったし、とても豪華でおかずの種



類も豊富だったので、これは私の知っている給食ではないな
と思いました。巳洞中学校の中学生10名と城陽市の中学生10
名とそれぞれ2人ずつペアになって話をした時、とても緊張
しましたが気軽に日本語でしゃべってきてくれたし、安心し
ました。プレゼント交換では、私は韓国で人気があるという
うグループのCDをもらい、とてもうれしかったです。また、
私があげた日本のおはしをとでも気に入ってもらえたよう
うれしかったです。それからその10名と一緒にカップパ
ウイへ行きました。カップパウイはとても高い山で風も強く、とても
寒かったので、ペアの人に「寒いね」と言ったら、気を使っ
てくれて私の手を握ってあたためてくれました。本当にやさ
しい人なんだなあと感心しました。カップパウイの一番
上まで登るのは疲れました。でも、頂上から見る景色はすこ
く高くても言えないさわやかな気分になったし、あの景
色は今でもよく覚えています。カップパウイを下山し、バスに
乗るとバスは巳洞中学校へ向かいました。バスの中ではペア
の人とテレビのドラマの話や歌手の話で盛り上がって、楽し
かったです。そうしているうちにすぐ巳洞中学校へ到着し、
もうお別れっていうのがあまり実感がわきませんでした。で
も、もう会うのは難しいんだなあとと思うと、すごくさみしか
ったです。本当に気持ちを込めて「カムサハムニダ。」と言
って別れました。

仏国寺の見学



3日目、仏国ブルグク寺サへ行ってガイドのハンさんにたくさん話をききました。韓国の歴史は、あまり知らなかったのが初めて知ることが多く、建物は色鮮やかで

とても立派なものばかりでした。古墳公園に行くと、もちろん古墳は見たのですが、その辺りの木や池の近くに黒っぽいリスがいてびっくりしました。野生のリスを見たのは初めてだったので、つい興奮してしまいました。

東大邱駅に到着すると、慶山市役所の人たちとお別れをしました。特に3日間でよく話をしたり、お世話になった李さんと別れるのはさびしかったです。

東大邱駅からソウル駅に到着すると、ソウルの風景はすごく都会でした。同じ首都っていうだけあって東京に似ているところがたくさんありました。ソウルのノルブチプという所で韓定食をおいしくいただいた後に、ソウルタワーへ行きました。ソウルタワーから見下ろすソウルの夜景は、今まで私

が見たどんな夜景よりもきれいでした。少し写真に撮りましたが、やっぱりそのままを今見ておこうと思って辺り一面見回すと本当にきれいでした。

最後の4日目は、韓国ドラマの撮影現場にもなったという昌徳宮チャンドククンへ行きました。ここでも色鮮やかな建物が並び、緑でいっぱいのが広がっていました。その林に今度は野生のシマリスがいました。韓国では緑が豊かだからシマリスもいるのかなあと思いました。

南大門市場ナムデムシンジャンや東大門市場トндеムシンジャンでたくさんお土産を買って、ソウルを満喫していたら、一、二、三日目と同様、あつという間に四日目も過ぎてしまいました。

私はこの研修旅行に参加することができて、本当によかったと思います。たくさん新しいで出会いがあつて、その出会うの数だけ楽しい思い出ができて、別れがあつてさびしくなりました。でもさびしい以上に楽しかったです。かけがえない思い出ができました。私がこう思えただけで交流は深まったといえると思います。本当に充実した4日間でした。一生忘れられない思い出ができて、本当に良かったです。

「韓国に行ってみて」



大谷中学校2年

辻 桃子

3月28日から4日間韓国に行ってきた、韓国と日本のちがいにどろいた。まず、おはしが鉄(?)でできてること。おもくて指つるかと思つた。筋肉つくんちゃうケ?てぐらのおもかつた。つぎは、お茶わんを持ち上げないこと。お茶わん持ち上げへんかったら食べにくいやん!って思うほど食べづらかつた。でも、そこが韓国と日本のちがいやしー納得。

1日目は市長さんのところに行った。市長さんは、何気に伊藤四郎に似ていた。優しそうな人で、なんか映像見てる途中で口笛ふいてはつた。ちよつとびっくり。映像見た後、なんかいろいろはなして、帰りぎわ誰かがポッケにおかしつめ込んできた。正直あせつた。おかしかよ!って感じでした。市役所の玄関前で記念撮影して慶山市場行った。おもちを食べさせてくれた。でも私の好きな味じゃなかった。やっぱし日本が1番や。そのあとブラブラ歩いてたら、服が売ってる店発見した。二十分くらい中のぞいて、かわいい黒のキャ



慶山市場の見学

慶山市の中心部に位置するこの市場は1日約5万人の買い物客でにぎわう慶山市の台所。当日は寒の戻りで気温は10度以下でしたが、食料、衣料、薬など韓国ならではの品々を見学。

ミソールあったから買った。三千八百ウォンやった。高いか安いかわからへんかった。買い物が終わってからは、ホテルに向った。ホテルはきれいやったけど、エレベーターがないから苦労した。でも、大浴場があつて楽しかった。お風呂上がってちよつとたったら男子から電話かかってきてトランプしようってことになった。5分ぐらいしたら男子が私とちひろの部屋に来た。それからトランプして、1時間ほどしやべつたら、石塚がいつのまにか寝てた。先に寝た罰ゲー

ムでいろいろいじりたおした。その夜は修学旅行の夜より楽しかったです。

2日目は、韓国の中学校に行きました。中学校では、大谷がめっちゃモテた。女の子も男の子もキャーキャー言つて、怖かった。廊下に出たら、めっちゃ生徒がよつて来て握手求められたり、服にぎられたりした。登山するために服を着替えたなら、校庭でバスケットやる生徒がおつたからまぜてもらった。そこで、男の子が制服の名札くれた。名札は五百ウォンするらしい・・・やからメアドと五百ウォン渡しといた。私のペアの子はボベっていう子やった。身長高すぎて程高かった。カップウイ登山はめっちゃキツかった。足とれるかと思つた。でも、登つた後の頂上からの景色がめっちゃキレイやった。夜ごはんはカルビ食べた。韓国ではおいしい肉らしいけど、やっぱり日本の方がおいしいと思つた。ホテルに戻つてお風呂入つてテレビみたらすぐ寝ちゃつたらしい。男子とトランプするつもりやったのになあ・・・。

3日目は天馬塚チョンマテヨンつてところに行つた。いわゆる古墳。リスイた。その後は、仏国寺ブルグクサとか見てまわつた。仏国寺はめっちゃ広くて、あるものとか全部大きかった。昼食の後は東大邱トンテテウ駅に行つた。東大邱駅は京都駅みたいに大きかった。KTXトンテテウつていう、新幹線みたいなのに乗つた。走つてる感覚がなくて浮いてるみたいだった。慶山とはお別れでソウルに行つた。

ソウルに着いたらすぐにホテルに向った。ソウルのホテルもキレイやったけど、温泉がないからつまんなかった。ホテルに荷物おいたら夕食を食べにノルブチプに行った。夕食を食べる所では、歌とかを歌ってくれる人がいた。ごはんはあまり食べれなかったけど、楽しかったしよかった。ごはん食べた後は、ソウルタワーに行った。ソウルタワーの形は京都タワーそっくりやった。のぼって見たら、めっちゃ高くて、夜景がやばいぐらいキレイやった。ロマンチックですね。ソウルタワーでは、スリランカの人に話しかけられた。そのスリランカ人の人は、兵庫に住んでるらしく、やたらと日本語ペラペラでびっくりした。バスに乗り込んでホテルへ。ホテルに帰ったら熱っぽかったから測ってみるとやっぱ熱があった。ってことでお風呂には入らずそのまま寝た。ちひろと男子は遅くまでトランプをしてたらしい。

4日目は帰国の日。ちよつときみしいけど飛行機に乗って日本へ。韓国は、日本人が住むにはちよつと難しいかもしれない。でも、また行く機会があれば行きたいと思います。

「韓国に行ってみて」



南城陽中学校3年

永井 結子

最初研修の話聞いたときには友達と旅行に行けるとかいう軽い気持ちで応募したのですが、研修の説明会や話がだんだん進むにつれて軽い気持ちで行ってはいけないということも思ってきました。そして、ニュースなどで韓国と日本の話題が出ると気をつけて見るようにしていました。私達は政治等の問題をぬきにして純粋に交流のために、日本とはまた違う文化をするために行くのだということを知りました。

そして、行く日当日になりました。韓国に着いた時点ではあまり外国という感覚はなかったのですが、バスに乗って移動した際に看板等の文字が全部ハングル文字だったのでそこで実感がわきました。慶山市長訪問の時には、市の紹介ビデオを見せていただき、大変勉強になったし、慶山市がとても大きな都市だということがわかりました。慶山市は、大学がとて多くてそれに伴う学生人口が多いということもわかりました。慶山市市場の見学の時にはガイドブックで見た蚕の

幼虫を試食しようと試みていたのですが売っている段階では食べられないことがわかり、ちよつとショックでした。市場には、興味深い物がたくさんありとてもおもしろかったです。特に半分骨のキジが売っているのを見た時は本当にびっくりしました。

市場の人はとても温かく接してくださいとても楽しかったです。漢方薬の店が多かったように思いました。あとイチゴを売っている店も多かったです。夕飯にはプルコギを食べました。韓国のお腹がいきいっぽいなるのでお腹がいっぱいになりました。韓国では残すほど多く出すのが礼儀らしく、残しても大丈夫なのだということを知りました。後、食器を持ち上げてはいけないというマナーがあることも知りました。ホテルはオンドルが入っていてとても暖かかったです。

2日目は韓国の中学生と



プルコギの夕食

の交流会がありました。中学校へ行くと「歓迎」という文字の横断幕がありました。小中一貫校で私達はとても歓迎してもらいました。学校紹介のビデオを見せていただいたり、生徒同士の交流の場を持つていただいたりしました。交流の場ではお互いの国で流行っている曲や、学校のことなどを英語やジェスチャーを交えて話しました。英語にあまり自信がなかったのですが、喋ってみると結構通じて話していて楽しかったです。その中で、日本のことが大好きな女の子と出会いました。選択とかで日本をとって本当に日本が大好きだと聞いてとても嬉しかったです。交流会の後は一緒に山登りに行きました。全然整備されていなくてとても疲れたけれど励まし合ったりして頂上に着いた時はとても嬉しくてみんな喜びました。山頂には、カップウイの仏様がおられてみなさん一生懸命拝んでいました。一つは願い事を叶えてくれると聞いたので、私も一つだけお願いしました。

3日目は、いろんな古墳や歴史的建造物の見学に行きました。そこでガイドの方に「くだら（ペクチェ）」の言葉の由来を3つ教えていただきました。古墳は円形中はとても広くて出土品は結構原型をとどめていました。これに四角い古墳が繋がると日本の前方後円墳に繋がるなあと思いつきながら見ていました。夜にはソウルタワーにのぼって夜景を見ました。いろんな光を放つネオンに合わせて、動いていく車のライト

が重なってとても綺麗でした。特に、橋の形にライトが光っていたのがとても美しかったです。

4日目は、ソウル市内を見学しました。チャングムが撮影された場所を見ました。韓国の木造歴史的建造物は、とても鮮やかな色彩で花のような模様が綺麗でした。高層ビルばかりのソウル市内で国宝があるのはちよつと意外でした。王族の暮らしとかどんなところから見ていたのかが実際にわかって感激しました。

韓国と日本では今国交上のいろいろな問題があります。その小さな歪みを埋め合わせていくのは私達の世代ではないでしょうか。歴史的に日本が韓国の人達に対してひどいことをしたことは変えようのない事実です。過去は変えられません。しかし私達次第で未来はいくらでも変えられます。大事なことは変えようと思うことだと思います。他の国でも隣国同士の争いは珍しくないと聞きました。お互いの国が国としての顔を重んじようとするならば小さな争いは避けられないと思います。しかし、相手の国としての顔も尊重したら本当に仲の良い国同士になると思います。韓国で私が出会った方たちはとても暖かい人たちばかりでした。私は、大学に行ったら自分でお金をためてもう一度行きたいと思います。その時にはもう少し韓国語を喋れるように頑張って、交流会で会った友達と今度は韓国語で話をしたいと思っています。



慶山市場で見かけたポンテギという蚕のサナギの食材

「韓国派遣に参加して」



西城陽中学校2年

長田 伊久美

私がこの中学生韓国派遣に参加しようとしたのは、去年の夏休みに城陽市ロータリークラブさんの記念事業で城陽市のもうひとつの姉妹都市であるアメリカ・バンクーバー市にいったので、慶山市にも行って城陽市の姉妹都市を制覇しよう！という何とも軽々しい気持ちがかきつけかけでした。でもいざ参加してみると知っている人が同じ中学校の男子だけだったので、他の子たちと仲良くなれるか不安になりました。しかし空港までのバスの中や飛行機内で話していると、みんなとてもいい人ですぐに仲良くなれました。

韓国についての第一印象は日本とあまり変りがないということでした。看板などの文字はハングルだったので異国を感じられました。建物や風景などは日本とよく似ていたし、街にいる人も外見はほとんど日本人と一緒にいたからです。空港を出てバスで慶山市までいきました。まず市長を訪問し、その後慶山市場に行きました。市場は日本の商店街のような

ものなのですが店の風貌や売られているものが、なんとなく韓国っぽさがありました。

2日目の中学校訪問の時は、最初は校長先生などの偉い人に囲まれた中で緊張してしまいましたが、中学校の子との交流のときはとても楽しかったです。そこで一番びっくりしたのが自分たちが、まるで校舎に入ると芸能人になったかのように歓声を浴びたことです。それこそヨン様にでもなったようでした。

生徒との交流会で私がペアになった子はおとなしい子で自分からあまり話しかけてくれなく、沈黙が続くこともありました。でも通訳の人に手伝ってもらいながら色々話しかけていると心を開いてくれたみたいで、自分からもはなしかけてくれるようになりました。その子に聞いた話では、韓国のほとんどの中学校では部活動がなく勉強に力を入れているそうです。それと選択の授業で日本語を学べるので何人か日本語を話せる子がいるそうです。中学校を後にして、交流会に参加した韓国の子たちと一緒に博物館に行きました。そこにあった韓国の歴史に関するものは、色合いなどは多少違いましたが、日本のものとあまり変わりなく、やっぱりどちらも中国から伝わったからなんだろうと思えました。

博物館の後は山に行きました。韓国の山は日本の山と比べて斜面が急なので石段はありましたが、それでも登るのは疲

れました。でも韓国の子たちと励まし合いながらなんとか頂上までのぼりきることができました。頂上では多くの人がお祈りをしていました。ガイド兼通訳の韓さんの話では受験生の母親は頻繁にお参りにくるそうで、私も4月からは受験生なので合格できるようお祈りしておきました。

3日目は仏国寺や古墳を見た後、KTXという韓国の新幹線のようなものでソウルに行きました。ソウルは慶山とは一変して、高層ビルが建ち並ぶ大都会でした。

その晩、みんなでソウルタワーに行きました。タワーからはソウルの夜景が360度全部見れて、ビルや街灯の明かりや車のライトが星みたいにいっぱいありとてもきれいでした。

そして4日目。朝は昌徳宮に行った後、南大門市場に行きました。そこは今まで買い物したところよりも物価が安く、さらに値切るともう少し安くしてくれたのでおみやげ物をたくさん買いました。東大門市場のデパートでは南大門市場ほど安くはありませんでしたが、それでも日本よりは安かったので服を買いました。

いよいよ空港で、韓国ともお別れかと思うと3泊4日がとても短かったように感じました。付き添ってくれた韓さんたちと分かれるのは少し寂しかったです。

この韓国派遣で一緒に行った人たちや向こうの人たちとも仲良くなれたので、参加して本当によかったです。高校に行

ったら知っている人がほとんどいないなかで友達をつくっていかなければならないので、今回それを体験できたので自信もつきました。

それと『韓国』という日本より遅れているんだろなと思っていました、実際に行ってみると全然そんなことはな

くソウルは東京並みに都会が広がっていたし、日本と同じくらい近代的事もわかりました。

現在、日本の韓国の間では色々な問題がありますが、それらの問題が少しでも多く解決して日本と韓国の交流がもっとふかまればいいなと思います。



巴洞中学校での交流会

「韓国派遣団に参加して」



西城陽中学校2年

中辻 正雄

僕は最初、「こんなん行っても何もならんわ」と思っていた。でも実際に行ってみるととても楽しくて、今は「マジで行ってよかったあ。めっちゃ楽しかった!!」と思っている。

三月二十七日の夜、「明日から行くんかあ、メンドイなあ」なんてことを思いながら用意をしていた。

そしてついに当日になり、早く起きて市役所にむかった。着くと既に何人かいて、なんか緊張してしまった。そしてみんなが集まると、会長さん達からのあいさつがあり、それが終わるとみんながバスに乗り込んだ。最初の方はMDを聞いたりにしてボーっとしていた。途中でトランプをしようとして誘われたので、それからはトランプをしながら空港に向った。

空港に着くと、とても広くびっくりした。小さい頃、旅行したらしいけど、覚えていないので何か全くわからなくて、緊張した。空港についてから二時間くらいしてからやっと飛行機に乗った。離陸する時は気分が悪くなりそうになった。



耳もおかしくなった。

韓国に着くとまたバス移動で慶山市長表敬訪問に行った。市長の話は長くてちよっとつらかった。その後、慶山市場に行った。市場はいろいろとあり魚や豚、野菜などがたくさんあった。そこで役所の人のおごりでこの辺で一番おいしいと言われているモチ屋でモチを食べた。そして夕食を食べに行った。夕食はプルコギでおいしそうだったけど、モチの食べすぎであまり食べれなかった。

宿舎に着くと温泉があるので、すぐに温泉に行った。とても広くてキレイでよかった。そして派遣の中で一番楽しかったのがその夜で、なぜかというところ、最初トランプをしていたら石塚君が一人で寝てしまったのでみんなでいじっていたからです。とてもおもしろくて楽しかった。

二日目はまず^{サドン}巳洞中学校に向った。着くとたくさん生徒がいて、ケイタがモテモテでみんなが押し寄せてきて、動きにくかった。だからいそいで校舎に

入り、校長室に入った。校長のあいさつの後、校内の見学をした。巳洞中学校は僕の通っている中学校よりもキレイでうらやましかった。次にコンピュータ室で行事の様子をビデオで見た。みんなとても活発だった。その後代表の生徒達と会い、交流をした。けっこう日本語が上手でおどろいた。プレゼント交換で僕は大きな壁掛けをもらったのもって帰るのがとても苦労した。

交流の後、みんなで給食を食べた。量も多く、辛い物があったのでみんなはだいたい残していたが僕は全部を食べきった。すると代表の人達が驚いていた。

その後、みんなで嶺南^{ヨンナム}大学博物館に向かった。博物館にはたくさんの歴史的に大切な物^{ヨソナム}があり、とてもすごかった。歴史を肌で感じた。

その次に、みんなでカップウイに登った。けっこう高くてしかも階段だからとても疲れた。登るのにはけっこう時間だからとても疲れた。頂上には大きな石の仏像があり、たくさんの人々が立ったり座ったりと不思議なお参りをしていた。その近くの壁にはたくさん小銭がくぼみなどにうまい事ついていたので僕も四枚ほど乗せた。

そして、中学校のみんなとお別れをした。みんないい人だったので、また会ってみたいと思います。

宿舎に帰るとその日はゆつくりと温泉に入った。

三日目、天馬塚^{チョンマチョン}という所で博物館と同じような物を見た。

その後仏国寺^{ブルグクサ}でたくさんの古い建物を見た。似たような物ばかりだったけど、一つ一つが大事なものなんだと思った。

そしてその後東大邱駅^{トンテグ}に行つて「KTX」という新幹線に乗り、二時間くらいかけてソウルに向つた。ソウルは大きなビルばかりで今までみたことがないくらい車も多かった。しかもホテルの人達は日本語がほとんど喋れていた。

僕たちはソウルタワーに登つた。ソウルタワーはとても高かった。しかもタワーから見ると夜景はとてもキレイだった。

四日目、最初に昌徳宮^{チャンドククン}という所に行った。ここでは、ガイドの人が日本語で説明してくれた。その後南大門市場^{ナムデムシンジャン}に行った。南大門と東大門は国宝一号と宝物一号という国でとても大切な物なんだと知つた。南大門市場はとてもたくさんお店があり、かばんや帽子、洋服などたくさんあった。東大門市場はビルで普通の店とあまり変わらなかった。

そしてソウル市内見学が終わると空港に行き日本に帰つた。日本に着くとバスで市役所に行つた。帰つてきて僕はこんなにたくさんのお土産を作ることが出来て本当にうれしかった。できれば来年もなんて思うくらい楽しかった。みんな、ありがとう。

「韓国を訪れて」



南城陽中学校3年

平松 稚理

「アンニョンハセヨ」この言葉は、会った人と初めて交わすあいさつです。あいさつから会話が始まると思うので、どこに行ってもあいさつはコミュニケーションをとるのに、とても大切なものです。私はこの事を研修旅行を通じて感じました。

私は、韓国派遣団に参加すると決めた時、ちゃんとやって来られるのか不安がありました。しかし、行くと決まった時は、城陽市の代表として行く責任感に変わりました。一緒に韓国に行ったメンバーは、同じ城陽市内にすんでいても知らなかった人が多くて、ちゃんとやっていけるか少し不安がありました。皆話しやすく良い人でした。そんな不安無く行く事ができました。私は、可畑さんと一緒にあいさつ文を二つ考えました。その時考えた文章は、私達が決めた目標でもありました。その目標を達成出来るようにしたいと思って行きました。

出発当日。集合の時間はとても早かったけれど、これからの四日間の事を思うとワクワクしました。初めて友達と乗った飛行機は、家族と乗ると、また違った楽しさがありました。そして、初めて降り立ったプサン金海空港では、少し戸惑いましたが、ハンさんに会った時は、四日間この人に付いて行くのかと思いました。ハンさんはバスの中で韓国の色々な事を話してくださいました。その話の中で韓国の事はもちろん、日本の歴史などは、私達よりもご存知だったので驚きました。私と可畑さんは、慶山市長表敬訪問の時に市長さんにあいさつを言わなくてはならなかったもので、韓国に着く前からとても緊張していました。しかし、韓国に行く前にチョンさんに発音を教えてもらったり、金海空港からのバスの中でハンさんに聞いてもらったりしていたので、後は市長さんにちゃんと伝わるかでした。私たちが読んでいる時、市長さんが軽くうなづいているのが見えたので、気持ち少し楽になりました。読み終わった時は、ホッとして、それまで緊張していたのが嘘のように無くなりました。この日は、初めて韓国のご飯・プルコギを食べました。韓国には、おはしがある事は知っていましたが、金属だと知りませんでした。金属のおはしは、長くて重たかったので、使いにくかったです。初日は、何処に行っても初めて見るものばかりで、ずっと興奮していました。

二日目は慶山市の巳洞サドン中学校に行けるという事で、韓国の学校を訪れられる機会は無いと思っていたので、とても楽しみにしていました。実際に行ってみると、慶山市の中でも特にきれいな学校ということで、その設備の良さ、環境のすばらしさがうらやましかったのです。巳洞中学の中学生との交流会でペアの人はすごくやさしくて、言葉が通じなかった時も、必死に理解してくれようとしていたのでとてもうれしかったです。

一緒に食べた給食は、辛いものが多くて日本の給食より豪華でおいしかったです。その後、巳洞中学の人達と登ったカッパウイは階段が多く、登るのにとっても大変でした。でも、巳洞中学の人達と登っていると、お互いの市の事、また、言葉を教え合いながら登れたので、大変でも楽しく登る事ができました。これからも連絡を取り合い、更に仲良くなれたら良いなと思います。私達が一日、二日目に泊まったホテルは、少しトラブル等もありましたが、オンドルの部屋だったり韓国にしかないものもあったのでよかったです。

三日目はソウルに行くという事で、どんな所かたのしみにしていました。東大邱トデグ駅からソウル駅まで乗ったKTXは新幹線みたいで、景色が次々と変わっていくので、韓国にも色々な所があるなと思っていました。夕食のノルブチプではチマチョゴリを着て韓国の歌を歌ったり演奏したりしている人

達を見て感激しました。夜に行ったソウルタワーはとても高く、ソウル市内を見渡せて、ビルの光や車のライトで絶景でした。最後に泊まったソウルレックスではお土産も買えたのでよかったです。

最終日に訪れた南大門市場ナムデムシジャンは日本人観光客が多く訪れている所で日本語が少し通じたので、韓国にいる感じがあまりありませんでした。私は、韓国ドラマのチャングムが好きで見たいので、チャンドクンに行くのを楽しみにしていました。実際に行ってみると、何処で撮影があったのか分からなかったけれど、全部目に焼きついて帰ろうと思いい、説明をちゃん



と聞いて来ました。
ソウル仁川空港インチョンから城陽市役所まで帰って来る時は疲れて眠ってしまいました。四日間の韓国滞在はとても充実した日々を送れたと思います。今回、韓国で学んできた事を今後の進路を決めていく時に生かしたいと思っています。

日本國 城陽市 中學生 訪問團

2006. 3. 28 慶山市



日 중학생 경산시 방문

자매도시인 일본 요요시 중학생 10여명이 2박3일의 일정으로 경산시를 방문했다. 국제교류협회 아라이 후미히토 단장의 인솔아래 28일 경산시를 찾은 요요시 중학생일행은 경산시청을 방문해 시청소개 홍보비디오를 시청하고 경산 재래시장을 견학하기도 했다.

29일에는 사동중학교 학생들과 교류회를 가지고 영남대 박물관관람과 갯바위 등반을 통해 서로의 우정을 돈독히 다졌다. 지난 91년 자매결연 이후 120여명의 요요시 학생이 경산시를 다녀갔다.

경산/심한식기자 shs@kbmaeil.com

日本中學生慶山市訪問

姉妹都市日本城陽市中學生10余名が2泊3日の日程で慶山市を訪問した。国際交流協会の新井史人団長を始めとした城陽市中學生一行は慶山市役所を訪問、市政広報ビデオを視聴し慶山市場を見学した。

29日には巳洞中学校の學生と交流し、嶺南大學博物館とカップウィ同伴を通して友好を深めた。91年の姉妹都市締結後、120余名の城陽市の學生たちが慶山市を訪問している。

2006年3月30日 慶北毎日新聞



慶山市場トクチプ（おもち屋）の前で



慶山市職員で城陽市国際交流親善大使でもある徐漢植さんが訪問団に会いにきてくださいました。上大温泉にて



ソウルに着いた夜
ノルブチプでの古典芸能の演奏



ソウル昌徳宮
仁政殿（インジョンジョン）の前で

あとがき

11回目を迎えた2005年度中学生韓国派遣事業は2006年3月28～31日の期間、協会理事である新井史人団長以下10人の生徒、引率2人の13人が慶山市キョンスンならびに慶州キョンジュ、ソウルを訪問いたしました。1991年に始まった慶山市との姉妹都市提携は今年15周年を迎え、15歳となる団員に参加してもらえたことで派遣団に特別な意義が加わったような気がいたします。昨年来、日韓交流は複雑な要素を含みながらも、文化交流をはじめとして大きくその裾野を広げながら活性化しております。このような状況下において協会では2005年8月に慶山市中学生訪問団をお迎えしたことに続き、両市の協力を得て今回の派遣を実施することができ、相互交流として共に分かち合えたことは大きな収穫であります。

10人の感想文に綴られていますように、慶山市での中学生同士の交流は大きな収穫となったようです。2006年3月28日早朝に城陽市役所を出発された皆さんが、3日後意気揚々と関西空港へ帰国し訪問中の出来事を聞かせてもらい充実した訪問となったことを確信するとともにこの文集を楽しむにしております。

訪問団は慶山市内で市役所表敬訪問、慶山市場見学や開校3年目となる巳洞サド中学校を訪問しました。新設校ということで整った設備、IT教育の強化、また日本語教育の実施などを積極的にされているとのことです。学校での見学や交流会に続き、同校生徒と共に嶺南大学博物館見学や大韓民国有数の仏教史跡であるカッパウイ登山を行い、親善交流を行いながら韓国文化への理解を深めました。

派遣団行程の後半は、世界文化遺産の指定を受けた慶州の仏国寺ブルククサやソウルの昌徳宮チャンドツクン、またソウル・タワー、南大門ナムデムン・東大門市場見学ムンシギヤンなど3泊4日の行程中多様な隣国の文化に接することができました。それぞれが慶山市や韓国への認識を新たにし、隣国の友人を数多く得る機会となりました。

派遣団の経験が契機となって、今後更に大韓民国や姉妹都市慶山市がより親しみのあるものとなり、団員自身の友好親善の促進が協会の理念でもあります。「恒久平和への寄与」という大きな目標にむけて行動できる人として成長をされていくことを祈念いたします。

末筆ながら今回の派遣事業にかかわり大韓民国慶山市ならびに城陽市の多くの方々にご協力をいただきましたことに改めて感謝いたします。

城陽市国際交流協会会長

工藤 香代子



慶山市の北端にある八公山の冠峰石造如来坐像（通称カッパウイ）を訪れた派遣団。
海拔897mの険しい頂上では、7世紀統一新羅時代に義玄大師によって造られた石仏と
眼下に広がる素晴らしい眺望を巴洞中学校の生徒達と共に楽しみました。